

道展 入賞・入選 おめでとう

入選：

- 第一部 添島均「落書き広場」、秋山寿子「スタンバイ中」、砂澤一彦「快走」、裏 征子「想い出」、荻田貞子「水路を激走」、片山洋一「よく撮れたね!」、黒岩幸子「狙い定めて」、小室博子「若い人」、佐々木敦子「継承したい物」、高谷喜一「夜のファンタジー」、田口栄吉「軌跡」、寺地栄一「ヤングパワー」、堀江和彦「芸道一筋」、澤田光起「街角」、原 禎子「落ち葉の雨だーい!」、藤原富士雄「かもめの停泊」、山田孝吉「小さなカメラマン」
- 第二部 秋山寿子「修学旅行」、砂澤一彦「空飛ぶ少女」、裏 征子「そよとの風」、紙谷重行「青春横溢」、坂本幸夫「神へ祈りを」、原 禎子「生涯現役」
- 第三部 廣岡 尚「威嚇」、秋山寿子「恵みの秋」、砂澤一彦「凍て付く朝」、裏 征子「季節の情景」、大竹 勝「鳶の競演」、荻田貞子「霜模様」、片山洋一「カケスの襲撃」、小室博子「樹氷の装い」、奈良美弥子「凍てつく森」、山川 勉「迫力」

- 道展入賞 歓びの声 -



2 席

坂本幸夫 <第一部「街角」>



この度、賞をいただきこれからの励みにと思っております。私はファインダーをのぞく時、人々の生活が感じられるものを主題にと考えています。受賞の作品はダイドンドン光景をとらえたものです。ふだんは自分のその時々々の気持ちを表す写真をと考えていますが、これからも一期一会を念じ精進していきたいと思っております。



寺地栄一 <第二部「雨上がりの祝津展望」>



昨年40年ぶりの応募で駄目でしたが、今回、入賞、入選の通知をいただき感激しております。10歳の頃から手作りカメラを手にして以来、家族友人など身近なものを写し、現像、プリントを楽しんできました。これからは更に表現の幅を広げ、また、写真で何か社会参加が出来れば望外の喜びです。とにかく、写真により多くの方々との交流が増えることが一番嬉しいことですので、よろしく願います。



原 禎子 <第三部「春とおからじ」>



入選入賞等は他人事と思いつつ渋々参加した道展でした。そこではからずとも目を留めていただいたのが四季を通してかよい撮影した赤井川の一コマで、こんなシンプルで地味な作品がと実は驚きと共に喜びも超特大でございました。一昨年度写協に入会以来、皆様にご指導頂いた賜と思っております。



3 席



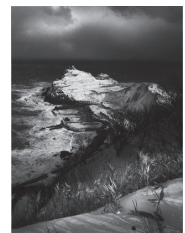
山本隆晟 <第一部「陽ざしの鍵盤」>

道展が近づいた冬になって、斜めに差し込む朝の陽ざしと影の鮮烈さに気付いて俯瞰で撮影したものです。まるでピアノの鍵盤のように思えました。聴こえてくるのは、どんなメロディがふさわしいのでしょうか？スライド最後の12月例会で1位にさせて頂いたもので、とりわけ印象深いのですが、道展には同時にデジタル撮影していた方を提出しました。(顔写真/1頁に別途掲載 作品/月例12月作品参照)

大野カヨ子 <第一部「荒波の日本海」>



この度第一部で3席を戴き感謝の念で一杯です。これも諸先生のご指導と写友の皆様の暖かい支えがあったることと深く感謝申し上げます。久しぶりに大好きな海に出かけた時、日本海特有の吹雪で真っ暗い空の雲間から一瞬の光が白波を照らすのを夢中でシャッターを押した一枚です。これからも感動の瞬間に出会えるよう続けたいと思っております。



添島 均 <第二部「コロポックルの思ひ出」>



この作品は、足寄のラワン露畑に子供達と遊びに行った時、頭上が大きな露の葉で閉ざされた中、虫食い跡から漏れた光線が子供の顔に当たった瞬間を超広角レンズで捉えたものです。今回の賞は「まぐれ」でないかと、自分の頬ぺたを掴って見たところ、「まぐれ」もない事実と判明しました。皆様の日頃からのご指導に心より感謝申し上げます。

